

平成 21 年度第 6 回岩手県大規模事業評価専門委員会

仙人道路改築事業 事後評価（報告）について

事業名	道路改築事業		補助・単独	担当部課名	道路建設課		
路線名等	国道283号	地区名	せんいんどうろ 仙人道路	市町村	遠野市		
事業概要	<p>(1) 事業目的 〔事業根拠法令等：道路法〕 解決すべきとした課題 国道283号の仙人峠は、急カーブ・急勾配が連続していることに加え、道路幅員が狭くすれ違いが困難な箇所が数多くあり、特に冬季においては、安全で安心な通行ができず、通過するのに多大な時間を費やすほか、交通事故も多発するなど当該路線の最大の隘路となっていた。このように当該区間が内陸と沿岸との交流や物流等の促進を阻害する大きな要因となっていたことから抜本的な改良を行う必要があった。 整備によって得られるとした効果 時間距離の短縮や、特に冬季の安全で安心な交通の確保により、内陸と沿岸とのアクセス性が向上し、交流連携が促進され、物流機能の強化や交流圏域が拡大すると想定し事業を実施したものである。</p>						
	<p>(2) 事業内容 ()内は国土交通省施行分 計画延長L=5,200m 計画幅員W=7.0(12.0)m 改良工L=4,001m 橋梁L=69m トンネルL=1,130m (計画延長L=13,200m 計画幅員W=7.0(12.0)m 改良工L=4,103m 橋梁L=1,121m トンネルL=7,976m)</p>						
	<p>(3) 整備目標等 ・平成18年度概成の釜石港湾口防波堤、平成18年度完成の公共埠頭に併せて供用 ・遠野～釜石間のアクセス性の向上 L=5,200m (新国道283号全体延長L=18,400m) ・冬季における安全確保及び交通の円滑化 L=5,200m (新国道283号全体延長L=18,400m)</p>						
	<p>(4) これまでの評価経緯 事業再評価：H13 付帯意見なし</p>						
事業着手	H4年	事業期間	H4～H18 H4～H18 H4～H18	最終全体事業期間 (再評価時全体計画期間) (当初全体計画期間)	用地着手	H6年	工事着手 H7年
事業費(百万円)	当初計画 総事業費 (H4) (うち用地費)	再評価時 総事業費 (H13) (うち用地費)	最終 総事業費 (H18) (うち用地費)		財源		
	8,300.0 (187.0)	8,300.0 (187.0)	11,141.9 (208.5)		国庫	6,128.0	
					県	5,013.9	
					他		
事業概要図							

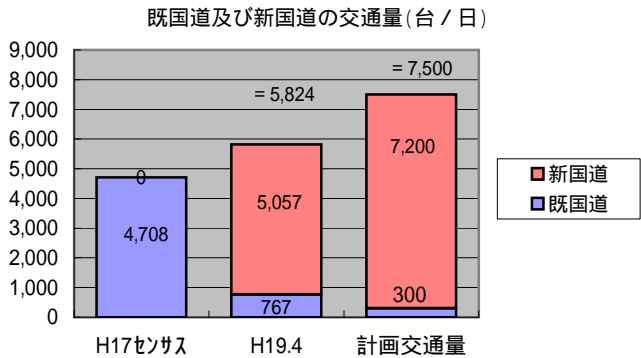
整備効果の発現状況

既国道及び新国道の交通量

[H42計画交通量7,200台/日]

新国道供用後H19.4の既国道と新国道の全体の交通量は5,824台/日で新国道供用前H17の既国道の4,708台/日の24%増となっており、新国道利用による交流が促進されている。

既存の国道283号を既国道、今回整備したバイパス部を新国道という。



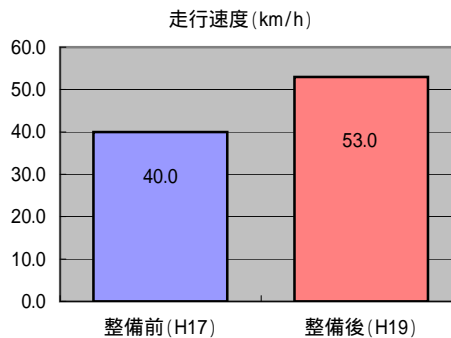
走行速度

[設計速度80km/h・規制速度60km/h]

新国道の走行速度は53.0km/hとなっており、新国道供用前の既国道の40.0km/hから13.0km/h向上している。

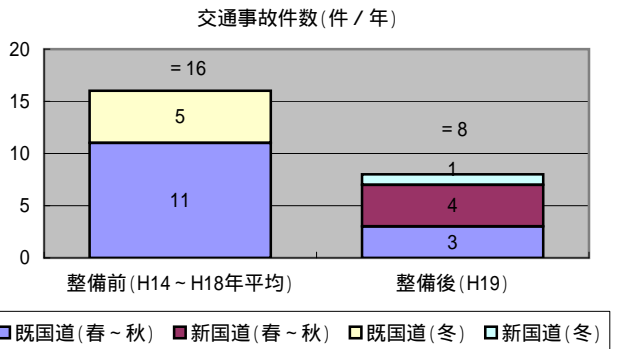
走行速度の向上や走行距離の短縮(L=5.7km)により、遠野～釜石間(上郷道路を含む)の走行時間が約16分短縮となっている。

走行速度は、新国道の起点～終点までの平均速度



交通事故件数

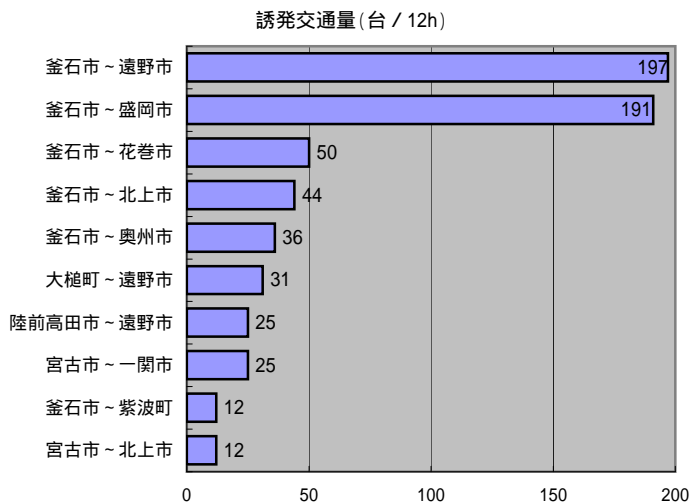
新国道の供用後、H19の既国道と新国道を合わせた年間死傷事故件数は、供用前の既国道の5割に減少し、特に冬期(12～2月)は2割に減少している。



地域間交流の促進

新国道の供用により、仙人峠を越える交流が拡大・増加しており、特に釜石市～遠野市間、釜石市～盛岡市間の利用増が多く、内陸と沿岸の地域間の交流促進に貢献している。

アンケート調査による誘発交通量を12h交通量に換算



○ 費用便益分析

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（平成20年11月）、道路投資の評価に関する指針(案) 第1編（平成10年6月）、第2編（平成11年11月）

（単位：百万円）

区分	事業着手時 (基準年：H4)	前回評価時 (基準年：H13)	事後評価時 (基準年：H21)		
		V=70km/h	V=60km/h	V=70km/h	
費用項目	建設費		64,000	84,000	84,000
	維持管理費		14,100	5,700	5,700
	総費用(C)		78,100	89,700	89,700
便益項目	時間短縮便益	事業着手時は費用便益分析を行っていない。	130,900	86,800	98,800
	走行経費減少便益		9,600	25,800	29,000
	事故減少便益		1,600	8,100	8,400
	環境改善便益		138	258	262
	拡張便益		4,933	9,594	9,798
	小計		147,171	130,552	146,260
	修正便益		90,510	80,290	89,950
総便益(B)		237,681	210,842	236,210	
費用便益比(B/C)		3.0	2.4	2.6	
	3便益(～)分	1.8	1.3	1.5	

費用便益が増減した理由

・当初計画から事業費が増加したこと、及び費用便益分析マニュアルの改訂により原単位が変更したことによる。

利用者アンケート調査内容

調査対象 A：新国道283号を利用している一般利用者（道路利用者）を対象とし、道の駅やスーパーで個別面接法によりアンケート調査を実施
B：新国道283号を利用している運送会社勤務者・消防署勤務者・公共交通機関勤務者を対象とし、郵送法によりアンケート調査を実施

調査対象者数：475名（A：419名 B：56名）

調査時期：6月

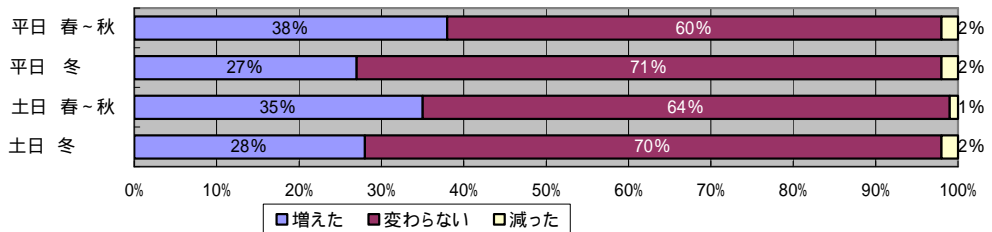
回収数：466名（A：419名 B：47名）

回収率：98.1%（A：100% B：83.9%）

アンケート結果

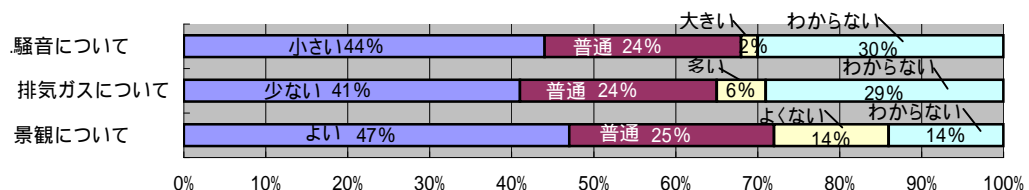
（効果）Q．新国道の利用回数は整備前と比べどうなりましたか？

・全体的に「変わらない」が最も多いが、「増えた」が27～38%を占めており、交流圏域の拡大等の事業効果が発現されているものと考えられる。



（環境）Q．整備後の新国道の環境についてどのように感じていますか？

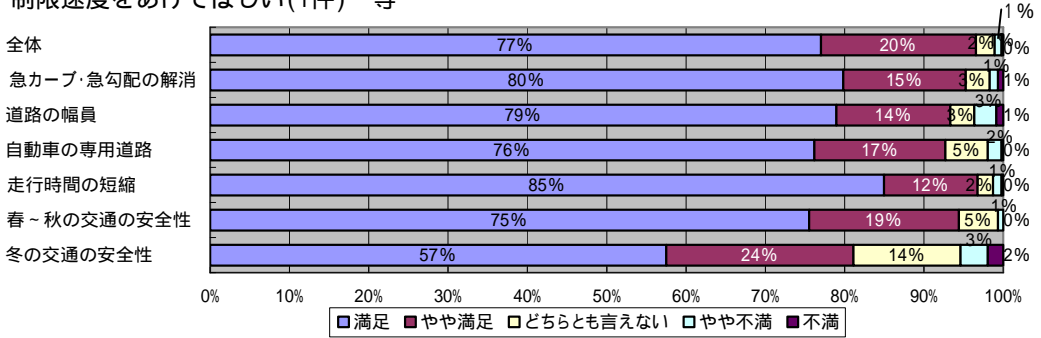
・騒音・排気ガス・景観ともに「小さい・少ない・よい」と「普通」を合わせると70%程度となっている。景観について「よくない」が14%となっているが、その多くはトンネルが多く休憩所もないため紅葉等の景観を楽しめないという意見が多かった。



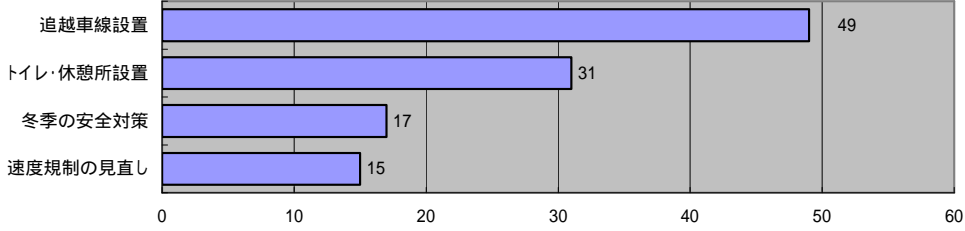
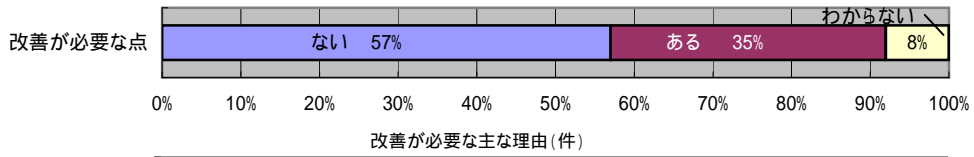
利用者の意見

(満足度) Q. 新国道の整備効果に対して全体として満足していますか？
 ・全体として「満足」と「やや満足」と回答した方が97%を占めており、今回の道路整備に対する満足度は高くなっている。

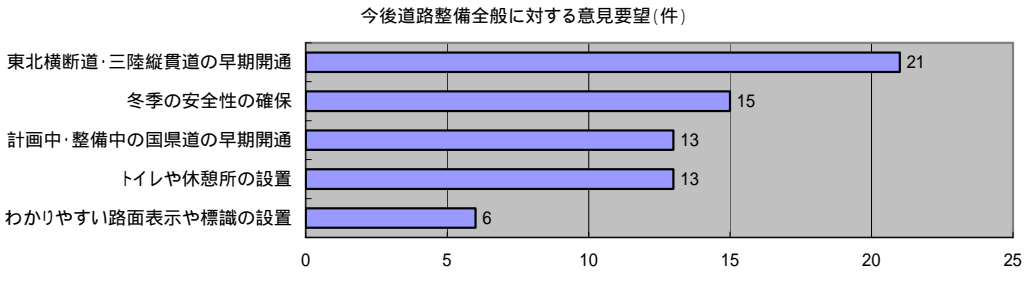
「どちらとも言えない」、「やや不満」と回答した理由
 トンネル内で携帯電話が利用できない(1件)
 片側一車線で遅い車がいると渋滞する(1件)
 制限速度をあげてほしい(1件) 等



(改善点) Q. 本事業の整備についてさらに改善すべき点はありませんか？
 「改善が必要な点はない」が57%、「改善が必要な点がある」が35%となっている。
 ・「改善が必要な点はない」が最も多いが、高規格道路としてさらなる改善を望んでいる。
 ・「改善すべき点」としては、「追越し車線の設置」「トイレ・休憩所の設置」が多い。



(事業全般に関する意見要望)
 Q. 今後、他の地区で同様の道路整備を実施する場合の意見や要望がありますか？
 ・今後の道路整備にあたっては、「高規格幹線道路の早期開通」「冬季の安全性の確保」「計画中・整備中の国県道の早期開通」などについての要望が多く、地域特性が現われている。



社会経済情勢等の変化

(1) 事業着手時と事後評価時の社会経済情勢の変化
 全国の状況：競争力、成長力の確保や地域活性化のための道路整備が求められている。
 本県の状況：「いわて希望創造プラン」において、政策の「6本の柱」の土台となる社会資本の整備は、今後も重点化を図りながら着実に進めていくこととしており「地域産業の振興」「災害・減災対策」「快適で安全な地域社会の形成」等を推進することとしている。
 道路では産業集積が進む内陸部と港湾を結ぶ道路や、インターチェンジへのアクセス道路などの整備を進めるとともに、防災対策や交通安全対策の充実を図ることとしている。

社会 経済 情勢 等 の 変 化	<p>国道283号：岩手県広域道路整備基本計画において、高規格幹線道路に位置づけられているほか、岩手県地域防災計画において、緊急輸送道路に指定されている。 また、沿岸と内陸を連絡する物流ルート、広域観光ルート等の機能を担っており、事業着手時と現在において当該路線の重要性は変わらない。</p> <p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況 県施行の仙人道路より釜石側13.2km区間は、直轄権限代行事業「仙人峠道路」、遠野側3.4kmは、道路改築事業「上郷道路」として、ともに平成18年度完成。 釜石港湾口防波堤（H18概成・H20完成）、公共埠頭（H18完成）の整備を実施。</p> <p>(2) 自然環境等の状況及び環境配慮事項 (動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分) ・岩手県自然環境保全指針による保全区分「B」 ・県のレッドデータブックに記載されている希少野生動植物の生息状況：有り ・保全の必要な遺構等の埋蔵文化財：有り</p> <p>(事業実施において環境に配慮した事項) 植物の有識者からの助言に基づいて、地域内に生息している希少野生植物を事業区域外へ移植した。 また、大規模な切土法面に在来樹木を植林し、周囲の自然環境に合うよう早期の樹林化を図った。 動物の移動経路確保のため、横断函渠の中に動物用通路を設置した。 埋蔵文化財について試掘調査を実施し、その後工事に着手した。</p> <p>(事業完了後の環境の変化) 移植した希少野生植物は活着し、順調に生育していることを確認している。また、切土法面に植林した在来種についても、順調に生育していることを確認しており、当該事業による環境への影響はほとんどないものと考えられる。 動物の移動経路確保については、現地調査において足跡等により利用している痕跡を確認している。</p>																																		
	<p>(1) 当該地区についての総括的なコメント、検討課題及び改善措置の必要性</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">(事業名) 道路改築事業</th> <th colspan="4">評価の概要</th> </tr> <tr> <th colspan="5">事業の概要</th> <th colspan="3">事業効果等の検証等</th> <th rowspan="2">今後の課題等</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了年度</th> <th>当初事業費 (百万円)</th> <th>完成時事業費 (百万円)</th> <th>再評価年度</th> <th>事業の効果等</th> <th>利用者等の意見</th> <th>社会経済情勢等の変化</th> </tr> <tr> <td>H4</td> <td>H18</td> <td>8,300</td> <td>11,142</td> <td>H13</td> <td>発現している</td> <td>肯定的な意見が多い</td> <td>重大な変化なし</td> <td>課題あり</td> </tr> </table> <p>総括的なコメント 本事業については、事業着手時において急カーブ・急勾配・すれ違い困難区間を解消し、内陸と沿岸の時間距離の短縮や特に冬季の安全で安心な通行の確保といった課題を解決し、物流の強化や交流圏域の拡大といった効果を期待して実施したものであり、冬季の交通事故の減少や新国道を利用する交通の増加といった事業計画において想定した効果が得られている。 また、アンケート調査から事業全体の満足度について、満足とやや満足を合わせて97%であることから事業の目的を概ね達成していると考えられる。</p> <p>検討課題 アンケートの結果、「追越車線や休憩所の設置」といった意見があったことから、同種事業にあたっては検討が必要である。</p> <p>改善措置 「追越車線や休憩所の設置」については新国道を含む東北横断自動車道釜石～花巻間約80kmの全線についてどう対応していくか国土交通省で検討している。今後はアンケート結果を国土交通省へ情報提供する。</p> <p>(2) 今後の同種の事業計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 今後の同種の事業計画・調査のあり方 ・計画中または整備中箇所を早期完成、冬季などの安全性が確保された道路整備を望む声が多いことから、厳しい財政状況の中でも、選択と集中により早期整備効果発現に努めていきたい。 ・当初計画から事業費の増額があったため、設計の精度が上がっている再評価時点での事業費の精度向上に努める。 事業評価手法の見直しの必要性について ・特に認められない。</p>	(事業名) 道路改築事業					評価の概要				事業の概要					事業効果等の検証等			今後の課題等	着手年度	完了年度	当初事業費 (百万円)	完成時事業費 (百万円)	再評価年度	事業の効果等	利用者等の意見	社会経済情勢等の変化	H4	H18	8,300	11,142	H13	発現している	肯定的な意見が多い	重大な変化なし
(事業名) 道路改築事業					評価の概要																														
事業の概要					事業効果等の検証等			今後の課題等																											
着手年度	完了年度	当初事業費 (百万円)	完成時事業費 (百万円)	再評価年度	事業の効果等	利用者等の意見	社会経済情勢等の変化																												
H4	H18	8,300	11,142	H13	発現している	肯定的な意見が多い	重大な変化なし	課題あり																											

大規模公共事業評価 事後評価調書 (付表)

事業名	道路改築事業	(補助) 単独	担当部課名	道路建設課
路線名等	一般国道283号	地区名	仙人峠道路	市町村 遠野市～釜石市

整備前後の状況

整備前

- ・トンネル幅員の状況(すれ違い困難)



仙人トンネル W=5.5(6.5)m

整備後



秋丸トンネル W=7.0(9.5)

- ・冬季交通の状況(登坂できず立ち往生)



国道283号 大橋地内



仙人峠道路 滝観洞インターチェンジ付近

自然環境に配慮した事項

- ・在来樹木(ミズナラ)の生育状況



- ・動物用通路の利用状況

